地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

宮城県利府町

自治体の課題、現状

本町の部活動は、「利府町中学校部活動ガイドライン」に基づき、生徒の自主的で多様な学びの場として各学校で適切に実施されている。

学校部活動を巡っては、これまで国や県の検討会議等で議論が行われ、少子化をはじめとする様々な課題が指摘されており、生徒のスポーツ・文化芸術等の活動が危惧されている。

本町においても、ニーズの多様化により、競技によっては学校単位でのチームが組めない部活動があり、活動への影響も出てきている。全ての生徒が、将来にわたりスポーツ・文化芸術等の活動に親しむことができる機会を確保するよう取り組んでいく必要があるため、令和６年度から、学識経験者、学校関係者、保護者の代表、スポーツ・文化芸術団体の代表者等で構成する「利府町教育環境整備検討委員会」を設置し、部活動地域展開を進めていくにあたっての検討を進めている。

多くの競技においては受け皿となる団体や指導者の確保などの課題が多く、町全体として地域展開を推進するための十分な実証事業を実施できていない状況にある。

今後は、部活動地域展開の本格実施を見据え、学校・保護者・生徒が抱える具体的な懸念点（費用負担、送迎手段、指導の質など）を詳細に調査・分析するとともに、スポーツ施設が充実している本町の特性を活かした持続可能な地域移行モデルの構築に向け、課題を早急に明らかにしていかなければならない。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	1,086人
域内の部活動数	24部活	実施した地域クラブ数	4クラブ
全体の指導者数	10人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	株式会社Sports＆Works		
主な種目	ソフトテニス・陸上・サッカー		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	2年：20人/クラブ 1年：15人/クラブ
参加会費	0円/月	主な活動場所	各中学校

取組の概要や成果

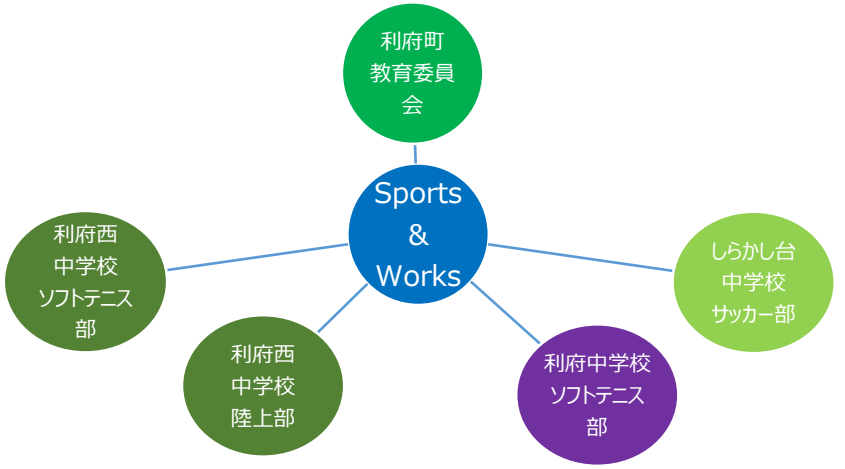
1. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制

- 関係機関（三者）による協議・連携体制・連絡体制整備
- 生徒・保護者との合意形成および連絡体制の構築
- 活動現場における調整・危機管理体制

2. 運営団体・実施主体の整備の取り組み事項

- 指導者配置の整備
- 人材の質の担保と育成（指導助言・研修）
- 事業運営・管理基盤の整備

運営体制図



Sports＆Works：コーディネーター派遣・指導者派遣